

巻 頭 言

財団法人高輝度光科学研究センター
副理事長 放射光研究所長 吉良 爽



JASRIは1990年に設置され、11年の歴史を刻んできました。SPring-8は順調に完成し、いまや世界一のマシンとして世界的にその性能を認められるにいたり、その利用が活発に行われる段階になっています。この間、JASRIは施設の建設、研究活動のみならず、研究を支えるためにも多くの試行錯誤を重ねてきました。供用開始から3年を迎えた昨年、利用の

実際により良く適合するよう放射光研究所の体制を変更したのをはじめとして、種々の見直しが行われました。その一つとして、刊行物の再検討がありました。この議論は、図書編集専門委員会（菊田委員長）で行われ、その結論を踏まえて、今年から、新しい形で年報を刊行することにいたしました。これがその第一号です。

従来は、英文のAnnual Reportが刊行されていましたが、それを二つに分けて、専門的な成果報告と一般記事を分離することになりました。その内の一般記事を日本語で掲載するのが、このSPring-8年報です。使いやすい情報誌を目指して、前年と同じ記述はできるだけ簡単にして、新しい事柄についての記述を詳しくする方針です。数年分をまとめて手元に置けば、SPring-8が行った事業が理解できるようなハンドブック的な役割を果たすことを意図しています。この年報の刊行は、JASRIの年報編集委員会によって行われますが、そこに記載されるのは当然ながら、原研、理研、専用ビームラインを含めたすべての事業に関することでもあります。

なお、専門的な報告は、従来からあるResearch Frontiers、および新しく刊行される英文誌、SPring-8 Reportによって行うことになっています。

新しいSPring-8年報を利用価値の高いものにするため、皆様のご意見やご要望をおきかせ頂ければ有り難く存じます。